

学校法人 東京聖徳学園

# SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ  
第49号  
平成22年8月1日  
発行  
学校法人 東京聖徳学園  
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28  
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ  
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



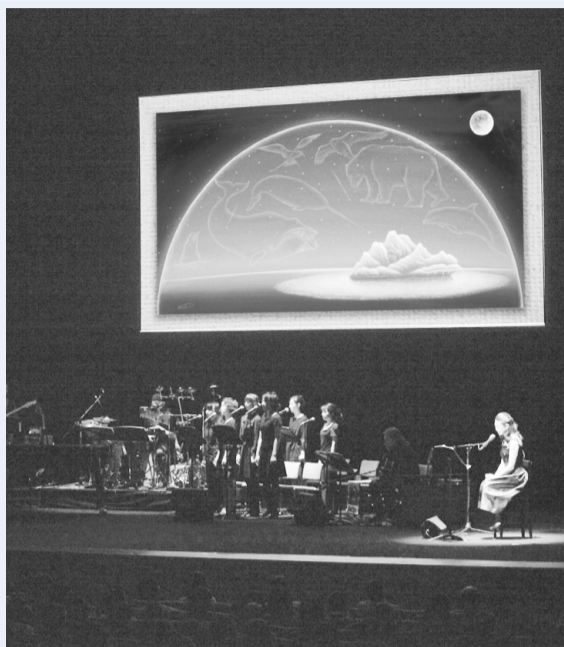
大田日向子さん

根岸杏さん

## 附属女子中学校・高等学校 聖徳生、カーネギーホールデビュー

三月二十七日(土)、ニューヨーク、マンハッタンの中にあるカーネギーホールにおいて、二〇〇八〜二〇〇九年に千葉市で開催された第一回、第二回国際ジュニア音楽コンクールの優勝者によるガラ・コンサートが開かれ、現聖徳大学附属女子中学校・高等学校音楽科四年M組ピアノ専攻の大田日向子さん(ピアノ部門第二回優勝)と根岸杏さん(同第一回優勝)の二人が参加しました。

カーネギーホールは一八九一年にチャイコフスキーによってこけら落としされ、二年後にはドヴォルザークの新世界交響曲初演、また一九六四年にはビートルズがコンサートを開くなど、クラシック音楽のみならず、すべての音楽の殿堂として世界中に知られるホールです。今回のガラ・コンサートは、ピアノ三名、ヴァイオリン五名の受賞者による約二時間半のプログラムで、大田さんはベートーヴェンとフランスの作品、根岸さんはプロコフィエフと地元アメリカの作品を、それぞれ披露しました。



Series Concert

## シリーズコンサート 第一五〇〇回記念公演 「冰山ルリの大航海」 高円宮妃久子殿下をお迎えして

聖徳学園シリーズコンサート第一五〇〇回記念公演「冰山ルリの大航海」が五月三十一日(月)、川並香順記念講堂において上演されました。

この記念すべき第一五〇〇回の公演として上演したのは、高円宮妃久子殿下の原文、画家の飛鳥童氏の挿絵による、絵本「冰山ルリの大航海」を朗読と音楽と映像による構成で表現したプログラムです。当日は、原作者である妃殿下をお迎

- 主なトピックス■
- ・シリーズコンサート 第1500回記念公演 「冰山ルリの大航海」  
～高円宮妃久子殿下をお迎えして～  
附属女子中学校・高等学校
  - ・聖徳生、カーネギーホールデビュー  
附属女子中学校・高等学校
  - ・生涯教育文化科の学生が、楽しいイベントを企画  
～楽習フェスタ2010～
  - ・パンクパーオリンピックスケルトン日本代表  
越和宏選手による特別授業「体育学概論」
  - ・卒業生先輩OGインタビュー 第5回  
本気で子どもと向き合っている毎日を楽しむ  
千葉県鎌ヶ谷市立初富小学校教諭 小野千春さん
  - ・第49回 保育表現研究発表会 幼児教育専門学校  
今年も熱唱! 合唱祭 附属女子中学校・高等学校
  - ・取手聖徳へ高まる関心 取手聖徳女子中学校・高等学校
  - ・第25回 望月校外学習 附属小学校
  - ・おいさまおばあさまの会を終えて 附属第三幼稚園
  - ・織り姫のように 多摩中央幼稚園
  - ・大学・短期大学部・大学院 同窓会  
「香和会」支部パーティー開催のご案内

INDEX

学園	1・2
大学院・大学・短大	1~4
幼児教育専門学校	5
附属女子中・高	1・5
取手聖徳女子中・高	5
小学校	6
幼稚園	6・7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001  
(教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001  
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見/ご感想を下記サイトにて受け付けております。  
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>  
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

えして、川並弘昭学園長をはじめ学園関係者、後援会関係者と共に、聖徳大学児童学部、附属女子中学校、附属女子聖徳女子中学校、附属小学校の生徒、附属小学校の児童と保護者が鑑賞しました。

「冰山ルリの大航海」は、妃殿下が地球環境問題を大きなテーマにしてお書きになった物語です。それは「ルリ」という名前の冰山が大なる地球を旅して、自然の力に助けられ、成長していく姿を表現しています。その「冰山ルリ」の姿を通して、一人の人間もまた自然の一部であることの大切さを、大人にも子どもにも分かりやすく伝えていきます。

第一部では、フリーアナウンサーの酒井ゆきえさんの総合司会、女優の紺野美紗子さんの朗読、そして新進作曲家・未知瑠さんの音楽によって、スクリーンに映し出された原画をバックに「冰山ルリの大航海」の世界が美しく表現されています。第二部は、引き続き酒

井さんの司会により、飛鳥氏、紺野美紗子さん、未知瑠さん、サウンドデザイナーの川崎義博さんによるトークセッションで、「冰山ルリの大航海」について、それぞれの思いが語られました。

公演終了後、御臨席いただきました妃殿下に、生徒がお礼の花束を贈呈し、笑顔でお受け取りになりました。



「聖徳学園シリーズコンサート」は、学生、生徒、児童の情操教育活動の一環として世界的に著名なオーケストラ、演奏家によるコンサート、オペラ、バレエ、日本の伝統芸能等幅広い分野にわたって、実物に接して心の教育を実践するという本学園の特長ある教育として、川並香順記念講堂を会場に、昭和五十六年から続けられています。

「冰山ルリの大航海」の挿絵を、飛鳥童氏より作品に込められた想いや「想像 (Imagination)」のお話をキャラクターで聞きました。冰山の中に皇帝ペンギンが描かれていたり、氷床の中にキョクアジサシ・トナカイ・北極狐などが描かれていて、園児たちは展示してある絵を食い入るように見つめ、発見するたびに歓声を上げていました。

また、「流れ星のヒトデ」の絵の前では、「ヒトデはなぜ星の形をしているのか分かるかな?」という飛鳥氏の質問に、園児たちが考えていると、「夜になると何が空に出てくる?」と飛鳥氏はさらに付け加えて言いました。そして、園児が「お星様」と答えると、「そうだね。おじさんは、そのお星様が流れ星になって海の中に落ちちゃった。それが、ヒトデなんだ」と想像 (Imagination) したんだよ」と話していました。園児には「Imagination」の話は難しくても、このヒトデの話は理解できたようでした。ほんの少しの間でしたが、飛鳥氏の展開する自然界の数々の素晴らしい発見に驚くと共に、果てしない想像の世界を満喫することができました。



## 附属幼稚園 想像 (Imagination) の世界へ

問に、園児たちが考えていると、「夜になると何が空に出てくる?」と飛鳥氏はさらに付け加えて言いました。そして、園児が「お星様」と答えると、「そうだね。おじさんは、そのお星様が流れ星になって海の中に落ちちゃった。それが、ヒトデなんだ」と想像 (Imagination) したんだよ」と話していました。園児には「Imagination」の話は難しくても、このヒトデの話は理解できたようでした。ほんの少しの間でしたが、飛鳥氏の展開する自然界の数々の素晴らしい発見に驚くと共に、果てしない想像の世界を満喫することができました。

聖徳大学川並記念図書館の照明が「国際照明デザイン賞」受賞

世界的照明デザイナー 石井幹子氏のデザイン

北米照明学会 (IESNA) より、聖徳大学川並記念図書館-KAWANAMI Center for Learning Resources, SEITOKU UNIVERSITYの照明デザインが、「国際照明デザイン賞」(International Illumination Design Award) を受賞しました。

北米照明学会は、一九〇六年にニューヨークで創設され、照明分野を広く統合したメンバーによって、世界中からの個人会員約九千人、団体約七百の会員で構成されている世界的に権威のある組織です。同賞は、照明分野に顕著に貢献を果たした照明デザインと認められる作品に対して贈られるものであり、アメリカ・カナダを中心、今年には世界各国から六百を超える応募作品の中から選ばれたものです。



同賞を受賞するのは、二〇〇七年に受賞作品に選ばれた松戸キャンパス(十号館を含む)の照明デザインに続き、今回二度目です。いずれも、東京タワーやレインボーブリッジのライトアップを手がけるなどして、日本の照明デザインの第一人者として、世界各国で活躍している石井幹子氏によるものです。

聖徳大学松戸キャンパス

松戸市防火協会会長より表彰状

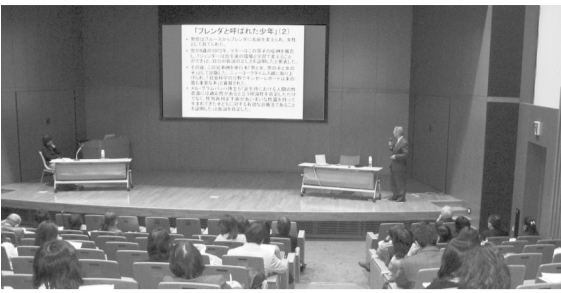
聖徳大学松戸キャンパス(十号館含む)が、防火防災の重要性を深く認識し、火災予防思想の普及と災害防止に努めたことにより、松戸市防火協会から「松戸市防火協会会長表彰」を受けました。

表彰式が五月十九日水、同協会の平成二十二年度定期議員会当日に松戸市消防局講堂において行われ、川並孝純学園事務局長が大学を代表して出席し、松戸市防火協会会長より表彰状を受け取りました。

子どもを総合的に知る

研究所リレー連載 所長の伝言板(第二回)

平成七年四月、未来を展望してこれからの時代に生きる子どもたちのさまざまな問題に光を当てるため、児童学研究所が発足いたしました。



今年2月13日(土)に思春期をテーマに開催された第4回「子どもの発達シンポジウム」の様子

児童学は、学問体系としてまだ確立されていない分野ですが、児童学研究所は、



聖徳大学 児童学研究所長 松浦 信夫 教授

児童保健学、福祉学、教育学、社会学、心理学などの専門家で構成され、学際的視点から「子どもを知る」をテーマにさまざまな活動に取り組んでいます。

現在、児童学研究所が行っている主な活動は三つあります。



対象となりました。

生涯教育文化学科の学生が、楽しいイベントを企画

楽習フェスタ2010

聖徳大学生涯学習研究所は、六月十九日(土)二十日(日)の二日間、地域と大学の交流、学生と市民の活動発表の機会を創出することを目的に、「楽習フェスタ2010」第十二回聖徳大学生涯学習フォーラムを開催しました。

初日は、独自の指導方法で児童、生徒と向き合う教師のグループ「教育技術則化運動(TOSS)」代表の向山洋一氏の講演「地域×もてなし×学校教育」で幕を開けました。

このほか、SOA体験講座、生涯学習見本市、伝承遊びコーナー、かえっこバザーなどが好評でした。

子どもから大人まで、それぞれの世代に向けた生涯学習の祭典として、二日間で約千人の来場者となりました。



聖徳学園菊水会ホームページへぜひアクセスしてください!! URL: http://www.seitoku.jp/dosorengokai

第八回 評議員会開催

同窓会連合会 聖徳学園菊水会

六月十二日(土)、聖徳大学十号館(生涯学習社会貢献センター)において、聖徳学園菊水会第八回評議員会および懇親会が開催されました。

開会にあたり、川並弘昭聖徳学園菊水会会長から、「各学校(園)の学生・生徒・園児の募集状況は、近年の少子化の状況で厳しくなっています。卒業生が満足して新しい仲間を紹介してくれる組織になっ

学生たちの声

楽習フェスタ2010

「my! style」コンテストを担当した

間山 董さん(生涯教育文化学科四年)



「二十四種の「プチ」をさまざまな組み合わせで食べ合おう」ことで、企業が知りたい「食べる人の反応」を調査する場を作り出しました。その意図をうまく伝えるため、企業に提出する企画書を作成するのが大変でした。」

「地域ふるさと自慢博覧会」を担当した

松本 奈津美さん(生涯教育文化学科四年)



「自ら試食し、店・商品を取りサーチしました。特に、初趣旨を伝えるのが難しく、何度も店に足を運び、賛同をいただいた時はうれしかったです。お店の案内マップも作成し、実際に足を運んでもらえるよう仕向けました。」

「発表! 夢のお菓子」を担当した

小林 明子さん(生涯教育文化学科四年)



「試作にあたっては、「枝豆を甘く煮る」など、学生の発想でいろいろ無茶な提案をお店にしてみました。商品化に向けて調理していたが、感謝していただき、自分の考えが、具体的な形になるところにやりがいを感じました。」

聖徳大学大学院  
教職研究科

# 教職大学院 ニュース

第9回

## 連携協力校(園)の紹介 Vol.6

前回に引き続き、教職研究科の学生が総合実習の授業において、学校経営や教育活動を総合的に体験する連携協力校を紹介いたします。

### ＜牛久市立小学校＞ 2校

#### ■牛久市立向台小学校 校長：宮田 充

所在地：茨城県牛久市牛久町1606 Tel:029-873-7471

- 特色
- 「笑顔・夢・感謝」いっぱいの学校づくりの推進
  - 毎朝8:10より読書活動を活発に実施
  - 地域教育団体、幼保小中、行政機関などとの連携

●教員数 30人 ●学級数 23 ●児童数 649人

#### ■牛久市立牛久第二小学校 校長：岩田 博

所在地：茨城県牛久市田宮町530 Tel:029-873-1438

- 特色
- 「学び合い」の中で、表現力と確かな学力を育てる教育活動に力点
  - 心と心をつなぐ言葉遣いの指導を通して、豊かな心を育てる教育活動に力点
  - 特別支援教育の充実に力点

●教員数 21人 ●学級数 15 ●児童数 433人

### ＜取手市立小学校＞ 3校

#### ■取手市立取手小学校 校長：矢作 進

所在地：茨城県取手市東5-3-1 Tel:0297-72-0059

- 特色
- 取手市内中心部に位置する創立138年の伝統校
  - ユニバーサルデザイン(誰にでも分かる授業)を意識した授業の取り組み
  - 平成20年第39回「博報賞」を受賞(特別支援教育部門)

●教員数 30人 ●学級数 21 ●児童数 530人

#### ■取手市立寺原小学校 校長：沖田 佳代

所在地：茨城県取手市井野台5-14-1 Tel:0297-72-0146

- 特色
- コミュニケーションをキーワードに、学び合いを通して確かな学力の育成
  - 地域交流(ふれあい)体験学習に力点
  - 創立130年の伝統校

●教員数 20人 ●学級数 13 ●児童数 419人

#### ■取手市立桜が丘小学校 校長：宮崎 範子

所在地：茨城県取手市桜が丘2-17-1 Tel:0297-82-7791

- 特色
- 主体的な学びを育てる、分かる授業の実現(市教育委研究指定1年次)
  - 仲良く助け合う児童の育成
  - 何事にも元気に取り組む創立18年のフレッシュ校

●教員数 19人 ●学級数 13 ●児童数 371人

## バンクーバーオリンピック・スケルトン日本代表 越和宏選手による特別授業

### 「体育学概論Ⅰ」

「体育学概論Ⅰ」(担当：百瀬定雄准教授)は、聖徳大学児童学部児童学科・小学校教員養成コースで体育を専修とする学生を対象とした講義です。日本の体育学研究を概観することと、スポーツ振興の現状把握と学校体育との関係について考察することを主たる目標としています。

日本のスポーツ振興の現状把握では、平成十三年に出されたスポーツ振興基本計画(平成十八年改訂)の示す三つの目標(子どもの体力問題、地域スポーツ振興、競技スポーツ振興)に関する現状をとらえながら、学

校体育との関連について考えています。

競技スポーツ振興では、トップアスリートを支える国立スポーツ科学センターやナショナルトレーニングセンターの役割、リユニージュチームの強化策・研究活動などから国レベルでの強化支援やアスリートの現状などについてとらえ、スポーツの持つ魅力や国民に与える影響などについて考察しています。

六月二十三日(水)の授業では、その一連としてスケルトン競技における日本の第一人者である越和宏選手が特別授業を行い、トップ



アスリートがどのような考えを持ってトレーニングや競技に取り組んできたのか、講話をしました。越選手の人柄もあって和やかな中にも、その話に引き込まれるものがあり、学生も非

常に集中して聞き入る姿が印象的でした。バンクーバーオリンピック後に四十五歳で引退した越選手の競技経歴は、その長きにわたる経験から、単に失敗と成功の経緯を持つ競技者としての歩みだけでなく、実体験から語られる人生観が教職を目指す学生にとって力を与える内容ともなりました。

本講義では最終講義として、国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターの現地見学・研修を学外講義として実施し、学生自身が直接見聞する機会をもうけながら、学生の考察を深める工夫を取り入れていま

## 「まじごと減CO2のロ」のライトダウンキャンペーンに参加



七月七日(水)、本学園では、松戸市が市民・事業者・市が一丸となって地球温暖化防止に向けて取り

組む日として昨年度より制定した「まじごと減CO2の日」のライトダウンキャンペーンに参加し、減CO2・省エネ活動として、大学五・七・十号館屋上照明の一時消灯を午後八時から午前〇時まで実施しました。当日は、午後八時開始の一斉消灯に先立ち、松戸駅西口デッキイベントブースにて、「減CO2グリーン電力ライブ」が行われ、総務部を聖徳大学・聖徳大学短期大学の聖徳ピシーズの小川千晶さん(人文学部社会福祉学科二年)が務め、「吹奏楽研究会レディースウィンドオーケストラ」が出演しました。

## 総合文化学科 授業参観、保護者懇談会を開催 「キャリアスタディⅠ」

六月十九日(土)、聖徳大学短期大学部総合文化学科では、キャリア教育の一環として、「キャリアスタディⅠ」の授業参観および保護者懇談会を実施しました。

授業参観では、一年生が自分の夢、「ドリームプラン」を発表し、それを保護者にご覧いただきました。卒業時にどんな自分でありたいか、それを表現するためにいつまでに何をやるかということ、一人ずつ皆の前で約一分発表します。今年、「コミュニケーション力をつけたい」「自立したい」という学生が非常に多くいました。



それに対して、番澤清美講師は「すぐにはできないかもしれないが、失敗しながら上手になっていくので、いろんな体験をしてほしい」「昔は電車に乗ればそのまま目的地まで行けたが、これからは目的地まで自分で自動車を運転しなくてはならない時代」とアドバイスしました。保護者か

## 自然の中で味わって、学んで、泣いて 「学外研修Ⅱ(北海道)」



聖徳大学短期大学部の学外研修Ⅱ(北海道研修)が、六月七日(月)から十三日(日)まで、二十一日(月)から二十七日(日)まで、各七日間の行程で二班に分かれて行われました。今年是一般的に天候にも恵まれ、各クラスともほぼ予定通りの行程で実施することができました。

この研修旅行の目的は、学生時代に各地の歴史、風俗、生活等の見聞を広め、さらに、社会人として不可欠の要素である、規則正しい団体生活を体験するところにあります。このような目的を踏まえて、札幌、温根湯、川湯、十勝川、登別、定山溪と巡りました。

雄大な自然の中で、野生のシカやキツネを目のあたりしたり、学生同士、引率教員との親交を深め、普段見えなかった新たな一面も感じました。

今年も例に漏れず、初日はあまり気乗りしないと言っていた学生たちも、最終日にはお世話になった観光バスのドライバーさんやバスガイドさんとの別れで涙を流す姿が見られました。学生たちは、この研修で身に付けたことを今後の学生生活、将来の社会人生活に生かしていきます。

## 千葉県産食材見本市 「千産千商2010」

日時/平成22年9月10日(金) (入場無料)  
会場/聖徳大学  
主催/千葉興業銀行・NPO法人コスモス経営塾  
協賛/聖徳大学短期大学部  
お問い合わせ/043-248-6121 (千葉興業銀行営業統括部)

## お知らせ

左記のイベントにて、総合文化学科(フード・調理プランチ、製菓プランチ)の学生が、出展企業の提供食材を使って調理した、料理やお菓子を試食することができます。ぜひ、ご来場ください。

卒業生・先輩

# OG

インタビュー

第5回

千葉県  
鎌ヶ谷市立初富小学校教諭



**小野 千春** さん  
2009年3月 人文学部児童学科卒業  
(現・児童学部児童学科)

## 本気で 子どもと向き合って 毎日を楽しむ

### 子どもたちの一言が元気の源

現在、千葉県の鎌ヶ谷市立初富小学校で五年二組の担任を務める小野千春さんは、今年教員として二年目となります。奮闘の日々についてお話をうかがいました。

教員の道を目指すようになりました。長女の麻衣子さん、次女の若菜さんもそれぞれ、聖徳大学、聖徳大学短期大学の出身。麻衣子さんは千葉県市川市で小学校教諭、若菜さんは実家のある鹿兒島県奄美大島で幼稚園教諭として活躍されています。

「高校生の時に新体操部に所属していて、地元の小学生に教える機会があったんです。それがとても楽しく、姉に続いて私も教員に、と思ったことがきっかけでした。絶対に教員になるという決意のもとに、小野さんは二〇〇五年四月、本学に入学しました。大学での生活や様子を姉たちからずっと聞いていましたから、迷いはありませんでした。採用試験対策など、ここまで面倒見の良い大学は他にはないですよ。」

### 頼りになるノート

「教員採用試験特別講座では、A評価が出るまで論文添削を行い、また、経験豊富な教授陣による模擬面接では、自分の番が来るまで、他の学生への質問やその答え方など



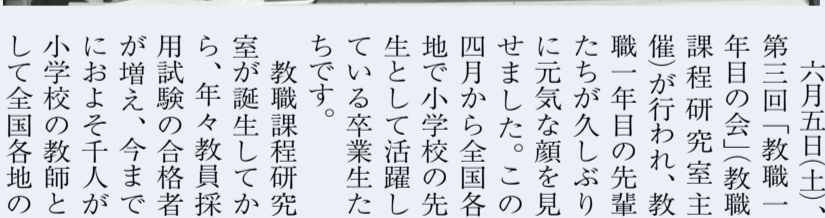
「教員採用試験特別講座では、A評価が出るまで論文添削を行い、また、経験豊富な教授陣による模擬面接では、自分の番が来るまで、他の学生への質問やその答え方など

### 保護者との対話の中で

今年度の運動会で、小野さんの学年はソーラン節を披露することになりました。しかし、児童たちは思ったように動けず、もどかしさが募り、このままではいけないと思った小野さんは、練習の様子を録画して児童たちに見せることにしました。「具体的にどこがダメだとはあえて言いませんでした。そうしたら、『先生が言っている意味が分かったよ。動きが小さいんだ。ここはこうするんだね』と口々に言っていて、教え合いが始まりました。みんなの心が一つにな

なった運動会は、感動の涙で終わりました。「自分で気づけた瞬間は、子どもの表情で分かります。目がきらきらするんです」と小野さん自身も目を輝かせて語ってくれました。

## よひつて先輩 第三回「教職一年目の会」開催



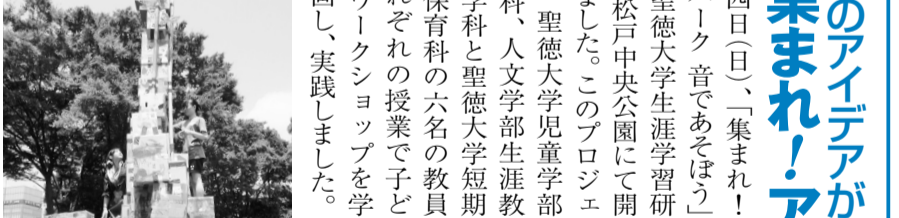
六月五日(土)、第三回「教職一年目の会」教職課程研究室主催、教職一年目の先輩たちが久しぶりに元氣な顔を見せました。この四月から全国各地で小学校の先生として活躍している卒業生たちです。

教職課程研究室が誕生してから、年々教員採用試験の合格者が増え、今までにおよそ千人が小学校の教師として全国各地の

学校で活躍しています。この会も第三回を迎え、定着してきました。一番乗りは、「新幹線の中を走って来ました」と冗談を言いながら、一時間前に到着した小川早希先生です。小川先生は、新潟県の先生として聖徳大学出身の第一号の現役合格者です。

会場は、教員採用試験を一ヶ月後に控えたドキドキの四年生と、ピカピカの先生でいっぱいとなりました。この会の主な目的は、聖徳大卒の教師が一同に会し、学校現場での悩みにや問題の解決の糸口を相互に見出すと共に、「聖徳大卒教師」のブランドの輪を広げ、在校生の採用試験対策に資することです(卒業生の最終的な合格者数は、百三十二名という全国

## 学生のアイデアが公園を埋め尽くす 集まれ! アートパーク



七月四日(日)、「集まれ! アートパーク」音であそぼう(主催:聖徳大学生涯学習研究所が松戸中央公園にて開催されました。このプロジェクトは、聖徳大学児童学部児童学科、人文学部生涯教育文化学科と聖徳大学短期大学部保育科の六名の教員が、それぞれの授業で子ども向けワークショップを学生と企画し、実践しました。

三回目の今回は、学生八十八名、親子四百七十三名が参加し、過去最大の規模になり、「音」をテーマに公園のさまざまな場所で十二のワークショップが行われました。その内容は、楽器を作って演奏、ダンス、木に吊るして遊ぶ物、水や砂を使ってペインティング、音楽を聴きながら段ボールを積み上げて約6mのタワーを作る等、学生と子どもたちが協力して大きな工作にもチャレンジしました。

「アートパーク」は、アートを美術、音楽、身体表現、あそびと幅広くとらえ、企画力、自主性、コミュニケーション能力等、将来、教員、社会人になる学生に必要とされる能力を培う学習の場にもなっています。今回は、松戸市の子育て団体等の参加も増え、さらに大学と地域が協力して作り上げていくプロジェクトに成長しました。参加した学生は、「さまざまな人と関わる中で、将来の夢への手応えを感じた」「教室では学べない貴重な体験だった」と語っています。また、保護者アンケートでは「また来年もやってほしい」等の声が多く、今後、大学の教員・学生、地域、行政等とが連携して「アートパーク」を継続していきたいと考えています。

# 幼児教育専門学校

## 初の大学・短大との合同開催 第四十九回 保育表現研究発表会

第四十九回保育表現研究発表会が七月十日(土)、聖徳大学、聖徳大学短期大学部、専門学校との合同で大学体育館を会場に開催されました。

当日は、川並弘昭学園長、川並弘純校長代行をはじめ、大学、短大部、専門学校の教員と保護者など多くの来場がありました。

午前のプログラムで表現あそびと創作舞踊の発表をしました。会場からは、一つひとつの作品にたくさん拍手をいただきました。

本校の長い歴史で初めての合同開催となり、保育者になる夢に向かって共に学ぶ学生たちと同じ舞台上で日ごろの成果を発表

することができ、新しい一歩となりました。聖徳学園の保育表現研究発表会の



ね、幼児教育者になる目標に向かって突き進んでいきます。午前の部終了後、専門学校、短大部の作品をしつかり鑑賞し、有意義な一日になりました。

## 学生の成長を証明 教員入試説明会実施



六月十二日(土)に高等学校の教員を対象とした二十三年度高校教員入試説明会が行われました。

川並弘純校長代行より本校の教育方針の話、元公立幼稚園

園園長の中山博子教授による「現場が求める保育者とは」の講演、学校紹介、入試説明、学生による発表「授業で学んだ大型絵本『ぐりとぐら』の実演を交えて」がありました。さらに、授業成果の一つを紹介してもらえよう、資料とは別に学生が製作した手作りポスターを渡しました。

参加者アンケートで、「学生による発表は素晴らしく、学生の成長や指導の立派な成果が証明されていた」「学生の雰囲気、学習内容を知ることができた」等が挙げられました。

# 附属女子中学校・高等学校

## 今年も熱唱！合唱祭

六月五日(土)、本校第一体育室にて第二十五回合唱祭が開催されました。



四月当初から練習を始めたクラスもあり、クラス一丸となって合唱祭に取り組みました。

今年度には、宿泊を伴う行事が相次ぎ、音楽の授業や練習時間を確保することが困難でしたが、指揮者や合唱リーダーの熱心な働きかけもあり、それぞれのクラスが持ち味を發揮してくれました。

今年度は審査員として、本校の外山浩爾・音楽科学科長(聖徳大学音楽学部演奏学科教授と、八杉忠利・音楽科学科長補佐(聖徳大学音楽学部演奏学科長)を招きました。今年も審査員

## 望月校外学習を終えて

六月十四日(月)から三泊四日で、長野県佐久市にある学園のセミナーハウス「かすが荘」にて校外学習を実施しました。

到着した時は小雨が降っていたのですが、入館式後は曇りに変わり、かすが荘の館内とグラウンド、飯ごうさんの河原など、各クラスでツアーをしました。その後、学習の時間を使って「うちわ作り」をしました。団長である湯澤義文先生の指導で、生徒一人ひとりが持参した折り紙などを

使い、美しく、丁寧に仕上げることができました。次の日は快晴となり、農



を悩ませるほどの良い演奏が続き、生徒の審査員も含め、真剣な協議をいたしました。その結果、中学の部では二年A組の「秋祭り」、高等学校の部では六年A組の「葡萄の歌」がそれぞれ最優秀賞に輝きました。また、指揮者賞、伴奏者賞が中学校一年生から高等学校三年生まで、それぞれ六名が選出されました。審査の間には、後援会コ

## 取手聖徳へ高まる関心

今年四月一日に校名を取手聖徳女子中学校・高等学校と変更して、同時に全国初の女子教育プログラムである特別教育課程「女性キャリア」がスタートして四ヶ月がたとうとしています。既に行われた説明会での参加者は、外部の方々の本校への関心が高まっていることを如実に表しています。



## イベント参加者が増加

五月十三日(木)に行われた「学習塾対象平成二十二年入試報告会」では、百を超える学習塾の先生方の参加がありました。説明会場となった視聴覚室がいっぱいとなり、来年度からは二日間に分けて行うことを検討しています。

五月二十九日(土)に上野松坂屋で行われた「私立学校説明会」では、初参加に加え、茨城県から唯一の参加にもかかわらず、五十組の小中学生・保護者が本校ブースに集まりました。

五月十五日(土)、六月十九日(土)に行われた「授業見学会」でも、昨年度を上回る受験生・保護者の方の来校がありました。

夏休みに開催する「オーブンスクール」では、一日取手聖徳生として、本校教員の授業を受け、生徒とふれあひ、部活動も体験できる絶好の機会となっています。(本紙8ページに日程が掲載されています)

## 広がる教育活動への理解

このようにイベントへの参加者が増えている要因

# 附属小学校

## 走りに磨きがかかった運動会



聖徳大学大学院教職研究科の百瀬定雄准教授による指導がありました。各学年一時間という短い時間でしたが、腕を大きく振り、軽やかに地面を叩いて、風を切り走る姿になりました。徒競争やリレーでは走りに磨きがかかり、接戦になるレースが多く、とても盛り上がりました。

五月二十二日(土)、晴天に恵まれ、開校二十五周年記念第二十四回運動会を行いました。土曜日の開催でしたが、多くのお客様においでいただきました。

今年の運動会のテーマは、「走る、歩くをしっかりと行う」「走る、歩く」ことについては、

## 縦と横のつながりを深める体験 第二十五回望月校外学習



六月四日(金)から実施した「第二十五回望月校外学習」では、二、六年生は三泊四日、一年生は二泊三日で、長野県佐久市にある学園のセミナーハウス「かすが荘」に宿泊し、さまざまな体験学習を行いました。

学年活動としては、川遊びやマスのつかみ取り、乗馬などの自然体験、和紙を使ったうちわ作りやわらの縄なえ体験など、多彩な学習が展開されました。特に

# 幼稚園短信

同窓会  
幼稚園時代を  
思い出す同窓会

六月五日(土)、毎年恒例の附属幼稚園の卒園生(小学一年生〜六年生まで)を対象に、同窓会「かをり会」が行われました。

二ヶ月前に卒園したばかりの一年生や、先生より背が

た姿を見せました。この二つの練習から、児童が自分たちの運動会を自分たちの力でより良いものにしてほしいという意欲を大きく喚起しました。教員も刺激を受け、練習の質を高められました。まさに、行事を通して、児童の心も教師の指導力も大きく成長した瞬間でした。真剣に取り組み、全力で行う、協力するといふ多くのことを学ぶことができ、開校二十五周年記念にふさわしい素晴らしい運動会になりました。

六年生は富岡製糸場、旧開智学校、松本城といった歴史的建造物を訪ねるバスハイクをしました。

また、縦割り班である「明和班」での活動も工夫されています。毎回の食事や布団しきなどの低学年のお世話に始まり、四・五・六年生は低学年のために飯ごうすいさんを行い、屋外で一緒にカレーライスを頂きました。キャンプファイヤーではフォークダンスや歌で大いに盛り上がりながらも、最後の校外学習が終わることに涙する六年生の姿が印象的でした。



## 附属第二幼稚園 一日体験入学

六月九日(水)、五歳児松組は聖徳大学附属小学校へ一日体験入学に行きました。

朝から「今日は小学校に遊びに行くんだよね?」と楽しみにする会話がよく聞かれ、大きな期待で胸が膨らんでいる様子が見られました。小学校に着くと、ふれあい広場で一年生が出迎えてくれました。園児たちは少し緊張し、照れくさそうにしながらも、にこにこ笑顔でとてもうれしそうに一緒に歌を歌ったり、「アブラハムの子」を踊ったりして過ごしました。

歓迎会が終わると、一年生の教室に移動し、小学校の先生から国語と算数を教えていただきました。姿勢を正して先生の質問に元気な返事を返して答える姿は、本当の小学生になったように目がキラキラと輝

き、小学校への期待をさらに膨らませることができたようでした。

お勉強ごっこ後は、待ちに待った会食です。広い食堂で小学校の先生方、児童の皆さんと一緒に楽しい雰囲気の中でお昼を頂き、おかわりをする園児たちもおり、とてもうれしそうでした。

今回、小学校一日体験をする中で園児たちは進学への期待を高めることができました。今後も就学に向けて、基本的な生活習慣の自立はもちろんのこと、自分で考え行動する力、相手を思いやる優しい気持ちや育てながら、充実した幼稚園生活を送れるよう援助していきたいと思



附属第三幼稚園  
おじいさま・おばあさまの会を終えて

六月十日(木)、幼稚園ホールでおじいさま・おばあさまの会が行われました。天気にも恵まれ、たくさんのおじいさま・おばあさまにおいでいただきました。園児たちも朝から元気な顔で登園し、この日をとても楽しみにしていたようです。女園で受付をすませたおじいさま・おばあさまに年長組の「はじめのこと

ました。この子どもたちがどこへ行っても「いつもにこにこ元気な子ども」であるように願うと共に、幼稚園が「心のふるさと」でありたいと思

ました。

この子どもたちがどこへ行っても「いつもにこにこ元気な子ども」であるように願うと共に、幼稚園が「心のふるさと」でありたいと思

「園歌」「小さな世界」に続き、心を込めて「おじいさん・おばあさん」の歌を歌いました。たくさんの方の笑顔と拍手をいただきました。その後各学年が、リズム遊びや合奏を発表しました。最近発表会という、

「園歌」の後の全園児の歌では、「園歌」「小さな世界」に続き、心を込めて「おじいさん・おばあさん」の歌を歌いました。たくさんの方の笑顔と拍手をいただきました。その後各学年が、リズム遊びや合奏を発表しました。最近発表会という、

## 短大保育科学生の 見学実習

六月一日(火)、聖徳大学短期大学部保育科の学生七十三名が、浦安幼稚園へ見学実習のため来園しました。

最初に、古橋和夫・保育科長の挨拶があり、そして、吉岡和子副園長からは、浦安幼稚園の概要と、学園の七園の創立年と幼児の生活と遊び、環境、保育者のかかわり方、最後に、幼稚園は人間形成の土台となる環境を通して行う総合的活動であるということの説明があり、さらに「今日は園児のお姉さんになって、心からの笑顔でスキップをして遊び、楽しんでください」との話がありました。

各クラスや園庭で学生と園児は声をあげながら楽しく遊び、その後各部屋で手作りの布の指人形を



この見学会で各自が感じたことや思いを今後の学生生活に生かし、幼稚園、保育園で活躍する夢を叶えてもらいたいと思

学生から園児にプレゼントしました。学生が幼稚園を後に玄関を出ると、園児たちは二階テラスや階段、園庭に出てきて、「さようなら、ありがとうございま

客席の保護者の方はカメラやビデオを構え、レンズを通して子どもたちの姿を見ている場合が多いように感じていましたが、この会では、園児たちを温かいまなざしと笑顔で見守ってく

### 三田幼稚園 楽しい水あそび

八月二日(月)より夏期保育がスタートし、園庭にプールを設置します。今年も園児たちは水あそびを楽しみに幼稚園に登園してきます。園児にとっては、一人で水着を着るといことは難しいようですが、一生懸命、色とりどりの水着に着替え、みんななかまを声をかけながら準備体操をし、その後水鉄砲を片手にプールへ入って遊びます。

三歳児は、大きなプールに大喜びで飛び込んでいく園児と、水が怖くてなかなかプールに近づけず、保育室の前で水鉄砲に水を入れ



て遊ぶのを楽しんでいる園児と両極端ですが、四歳児や五歳児になると、みんなづながってプールの中を歩きながら、流れるプールに見立てて遊んだり、四つんばいになり「ワニ」に変身して水の中を歩いたり、水に顔をつけられることをうれしそうに友だちや先生

### 八王子中央幼稚園 「生活発表会」で見せる園児たちの成長

七月三日(土)、「生活発表会」を実施しました。三歳児にとっては、入園後初めての発表会です。四月当初は保護者の方から離れられず泣いていた園児たちも、幼稚園生活を通して友達と過ごす楽しさを

味わいながら、友達と一緒に舞台上に立って踊りが踊れるようになりました。初めての舞台上で緊張から踊れずにいる園児、自信を持って踊れる園児とさまざまな姿が見られますが、三ヶ月の園児の成長を見ていただけるとても良い発表会になっていきます。四歳児は新しいクラスの友達と一緒に、物語に親しんで元氣いっぱい踊れるようになり、物語も踊りも三歳児よりも難しくなり、「お兄さんお姉さんになったから頑張るんだ」と言っていて、張り切った取り組めるようになり、五歳児は、初めてのサカホーン(ハーモニカの種類の)に取り組み、毎日一生懸命練習した成果が発揮できるように、一人ひとりが真剣に吹いています。また、合奏も五歳児だけができると



いうことで、年長児としての自覚も出てとても真剣に取り組んでいます。踊りは組体操を取り入れ、年長児らしい動きもたくさん行っている。三歳児、四歳児、五歳児と続けて見ると、学年の違いや成長も感じていた。また、「生活発表会」でした。

### 多摩中央幼稚園 織り姫のように

織り姫のように、「はたおりが上手になりますように」という伝統が、今は「願い事が叶いますように」ということになり、生長が早い笹の葉に短冊を飾る、という伝統行事を園でも行っています。今年度は、六月の終わりに七月の初めにかけて、桜組では星をつなげたり、ちようちんを作ったりし、梅組は輪つなぎを作り、松組は天の川を作るなど、各

学年に合わせた笹飾りを用意しました。そして、紙コップ、トイレットペーパーの芯、折り紙などを利用して、織り姫、彗星を製作し、家でも七夕を祝い、飾れるように持ち帰りました。毎年、玄関ホールには願い事を書いた短冊を全園児分飾ります。願い事を見てみると一人ひとり内容が違い、「おもちゃが欲しい」と現実的な願い事や「アイドルになりたい」「クッキー屋さんになりたい」と、夢を抱いて願い事を考える園児もいます。たった一日ではありま

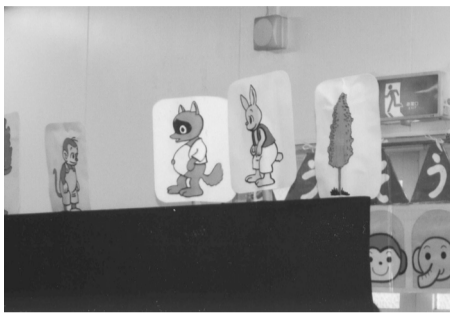


すが、夢のある行事に参加し、楽しいひとときを過ごしました。

### 同窓会 なごみ会 年に一度の 同窓会

同窓会「なごみ会」は、今年度新たに百五名の卒園生を迎え、総勢七千三百七名になりました。毎年新しい会員が増える反面、同窓会の案内状が転居先不明で戻ってきってしまうこともあり、五月十五日(土)、二百六名の卒園生を迎え、開催されました。

退職された先生方をお迎えし、みんなで歌を歌ったりゲームをしたり、おやつを頂いたりしました。うれしいおしゃべりタイムも、幼稚園時代の懐かしい話や学校生活の報告などで楽しい時間が過ぎていきました。毎年、ゲーム大会などで盛り上がりですが、今年三月に幼稚園教諭が研修会で学んだペーパーアート(聖徳大学



短期大学部保育科・掃守純一郎准教授の指導による)

行いました。「にっこりさんがってんさん」というお話でしたが、ペーパーアートの表情などにも夢中になり、みんな集中しながら、時には笑いながら楽しむ姿が見られました。「来年もお話してね。楽しみにしているからね」とうれしい言葉をかけてくれた同窓生もいました。高学年になると出席者も少なくなり、



次回の同窓会イベントとしては、十月三日(日)の芝公園グラウンドで行われる運動会です。小学生から大人までが参加できる競技を計画しています。また、十一月三日(水)、文化の日に行われる聖徳にこにこまつりもあります。懐かしい同窓生に会えるのが楽しみです。

### 同窓会 わかば会 懐かしい幼稚園

今年度は六月五日(土)に、同窓会「わかば会」が開催されました。百七十一名の卒園生が集まりました。六年生も七名遊びに来てくれました。久しぶりの幼稚園に、「こんにちは」「先生、遊びに来たよ」と、笑顔いっぱい的一年生や、少し恥ずかしそうにやって来る高学年の子どもたちと、さまざまな姿が見られました。久しぶりに会った友達と話が弾む子どもたちで、ホールはとてにぎやかでした。

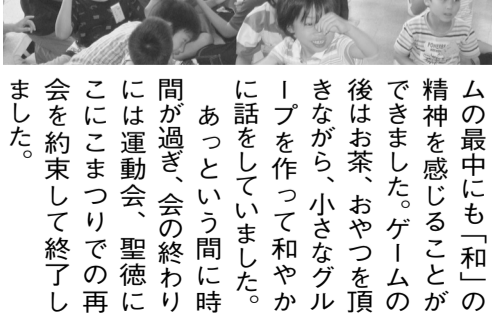


「園歌」「友達賛歌」「手のひらを太陽に」を歌うと、恥ずかしがっていた卒園生も、少しづつ大きな声が出てきて元気に歌い始めました。そして、「猛獣狩りゲーム」「ジャンケン列車」「リズムあそび」「カードゲーム」「王様ジャンケン」と、たくさんのゲームをして遊びました。「懐かしいね」「幼稚園のころ遊んだね」と、懐かしがりながら楽しく遊んでいました。ジャン

会終了後は園庭で遊ぶ子どもも多く、「こんなに一輪車小さかった?」「もう補助輪がなくても乗れるようになったんだよ」と言っていて、久しぶりの園庭遊具で遊んでいました。「先生、今度は運動会に来るね」「また来年来ます」と言っていて、笑顔で帰って行く姿に頼もしさを感じました。卒園生にとって、とても楽しいひとときになった同窓会でした。



ケン列車や王様ジャンケンでは、一位になることを目指してゲームを楽しむ姿が見られました。おやつ時間は、友達と一緒に懐かしい幼稚園の話をしたり、学校の話をしたりととても和やかな雰囲気です。話が弾んでいました。会終了後は園庭で遊ぶ子どもも多く、「こんなに一輪車小さかった?」「もう補助輪がなくても乗れるようになったんだよ」と言っていて、久しぶりの園庭遊具で遊んでいました。「先生、今度は運動会に来るね」「また来年来ます」と言っていて、笑顔で帰って行く姿に頼もしさを感じました。卒園生にとって、とても楽しいひとときになった同窓会でした。



会では、同窓会会長の挨拶、園長の挨拶、そして退職された先生方の来賓紹介があり、話を聞いて懐かしさを感じていた子どももいたようでした。続いてゲームを行い、一年生参加の「玉入れ」をし、全員で行った「王様じゃんけん」では先生と必死にじゃんけんをし、勝って大喜びする姿がありました。また、「ナンバーコール」では指示された人数を早く集めようと、学年を超えて近くの人に声をかけ合って集まっている姿が見られ、ゲームの最中にも「和」の精神を感じることができました。ゲームの後はお茶、おやつを頂きながら、小さなグループを作って和やかに話をしていました。あつという間に時間が過ぎ、会の終わりに運動会、聖徳にこにこまつりでの再会を約束して終了しました。

# 入試関係行事のご案内

■ 聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ:0120-66-5531

オープンキャンパス ▶8月21日[土] ▶9月19日[日] 聖徳大学松戸キャンパス

## 夏のオープンキャンパス開催

8月21日(土)は、夏のオープンキャンパス最終回です! 体験授業や学科コーナー等の学びが分かるプログラム、さらに入試対策プログラムとしてAO入試対策講座や推薦入試面接対策講座を実施します。もちろん、在学生とのフリートークやキャンパスツアー、個別相談も行います。



また、「オープンキャンパス行きたくないけど、日程が合わない」という方には「キャンパス見学」がオススメです。毎日実施していますので、ご都合に合わせてキャンパスを見に来ることができます。プログラムは、個別相談と在学生によるキャンパス案内が中心。普段の聖徳を見ることができるとても魅力の一つ。ぜひご利用ください。

## 全国各地で進学相談会開催

「なかなかキャンパスに足を運べない」という方、ぜひ各地で開催している進学相談会にお越しください。専門のアドバイザーが丁寧に対応いたします。 ※は本学主催

### ■ 首都圏

- ▶10月2日[土] 池袋 サンシャインコンベンションセンター
- ▶12月12日[日] さいたま※ 大宮・JA共済埼玉ビル
- ▶11月21日[日]・28日[日] 松戸※ 聖徳大学 松戸キャンパス

### ■ 東北

- ▶9月2日[木] 秋田 アルヴェ
- ▶9月5日[日] 郡山※ 郡山ビューホテルアネックス
- ▶9月10日[金] 仙台 仙台国際ホテル
- ▶10月24日[日] 盛岡※ ホテルニューカリーナ
- ▶9月3日[金] 盛岡 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング
- ▶9月7日[火] 山形 ホテルメトロポリタン山形
- ▶9月14日[火] 八戸 八戸プラザアーバンホール

### ■ 関東

- ▶9月8日[水] 宇都宮 マロニエプラザ
- ▶9月15日[水] 水戸 水戸プラザホテル
- ▶9月10日[金] 高崎 エテルナ高崎
- ▶12月5日[日] 土浦※ ホテルCANKOH

### ■ 甲信越

- ▶9月6日[月] 甲府 ベルクラシック甲府
- ▶9月8日[水] 新潟 ANAクラウンプラザホテル新潟
- ▶10月3日[日] 長岡※ ホテルニューオータニ長岡
- ▶9月7日[火] 松本 ホテルブエナビスタ
- ▶9月8日[水] 長野 ホテルメトロポリタン長野
- ▶10月17日[日] 甲府※ 談露館

### ■ 東海

- ▶9月26日[日] 静岡※ 静岡第一ホテル

### ■ 沖縄

- ▶11月14日[日] 那覇※ ホテル日航那覇グランドキャッスル

進路を決定する大切な時期に、ぜひSEITOKUを体験してください。

■ 通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ:047-365-1200(直通)

入学説明会

- ▶8月22日[日] 松戸 聖徳大学松戸キャンパス
- ▶8月28日[土] 名古屋 愛知県産業労働センター
- ▶8月29日[日] 大阪 梅田スカイビルタワーウエスト10階
- ▶9月4日[土] 東京 新宿エルタワー30階
- ▶9月5日[日] 札幌 アスティホール4階
- ▶9月5日[日] 福岡 エルガーラホール8階
- ▶9月26日[日] 松戸 聖徳大学松戸キャンパス

10月生出席受付中

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ:03-5476-8811(代)

夏のオープンキャンパス ▶8月5日[木] ▶8月28日[土] ▶9月25日[土]  
13:00~15:00 10:00~12:00 10:00~12:00  
※学校見学は、随時行っています(日・祝は除く)。

## オープンキャンパス開催

本年度は、昼間12回、夜間5回のオープンキャンパスを開催! 8月5日(木)は、体験授業「幼児の運動あそび」を予定しています。さらに、在学生の生の声が聞ける「学生による相談コーナー」も実施します。

また、「学校見学」も随時行っています(日・祝は除く)。オープンキャンパスと学校見学に両方参加した方にスタンプカード特典として、プレゼント(マックカード)を進呈します。ぜひご参加ください。

なお、在学生・教職員が参加している、専門学校のホームページ(www.seitoku.jp/kttcsu)のブログ「サイトク日記」では、オープンキャンパスの報告等、学校の雰囲気を感じることができます。こちらもぜひご覧ください。



■ 聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ:047-392-8111(代)

オープンスクール ▶8月21日[土] 受験個別相談会(体育祭併行) ▶9月4日[土]  
学校説明会 中学校 ▶9月18日[土] 高等学校 普通科 ▶9月25日[土] 音楽科 ▶9月11日[土]

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ:0297-83-8111(代)

オープンスクール ▶8月7日[土] ▶8月8日[日] ▶8月22日[日]  
音楽 オープンスクール ▶8月21日[土] 授業見学会 ▶9月25日[土]

■ 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ:047-392-3111(代)

入試説明会・授業見学 ▶9月4日[土] 入試説明会 ▶9月26日[日]

■ 聖徳大学附属幼稚園 ●お問い合わせ:047-368-6135(代)

幼稚園見学会 ▶9月14日[火]  
入園説明会 ▶10月14日[木]

■ 聖徳大学附属第二幼稚園 ●お問い合わせ:047-341-6598(代)

幼稚園見学会 ▶9月11日[土]  
入園説明会 ▶10月16日[土]

■ 聖徳大学附属第三幼稚園 ●お問い合わせ:0476-26-3371(代)

幼稚園見学会 ▶9月10日[金]  
入園説明会 ▶10月15日[金]

■ 聖徳大学附属浦安幼稚園 ●お問い合わせ:047-721-8181(代)

幼稚園見学会 ▶9月9日[木]  
入園説明会 ▶10月12日[火]

■ 聖徳学園三田幼稚園 ●お問い合わせ:03-5476-8811(代)

見学説明会 ▶9月29日[水]  
▶10月8日[金]

■ 聖徳学園八王子中央幼稚園 ●お問い合わせ:042-664-0972(代)

見学説明会 ▶9月27日[月]  
▶10月13日[水]

■ 聖徳学園多摩中央幼稚園 ●お問い合わせ:042-676-0777(代)

見学説明会 ▶9月16日[木]  
▶10月12日[火]

※詳細につきましては、お問い合わせください。

## 大学・短期大学部・大学院 同窓会 「香和会」支部パーティー開催のご案内

9月から12月にかけて、全国7支部で楽しい支部パーティーを開催します。会いたかった級友に再会するための他支部参加も大歓迎です。どうぞお気軽に参加してください。役員一同お待ちしております。



昨年の九州・沖縄支部パーティーの様子

このほか、11月6日(土)の聖徳祭(松戸市)では、ハッピーホームカミングを企画しております。

支部名	日程	時間	場所
北海道・東北支部	10月10日(日)	12:00~15:00	秋保温泉ホテル瑞鳳(仙台市)
北陸・上信越支部	9月19日(日)	12:00~14:00	チサンホテル&コンファレンスセンター新潟(新潟市)
近畿・中国・四国支部	12月4日(土)	12:00~14:00	ホテル京阪京都(京都市)
九州・沖縄支部	11月13日(土)	18:00~20:00	ホテル日航那覇グランドキャッスル(那覇市)
北関東支部	12月12日(日)	14:30~16:30	パレスホテル大宮(さいたま市)
南関東支部・甲州・中部・東海支部 合同	11月28日(日)	14:00~16:00	聖徳大学・リュミエール(松戸市)

※注:上記内容は予定であり、一部変更する場合がございます。各支部パーティーの場所等詳細につきましては、準備が整い次第、郵送にてご案内いたします。

【お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

## 信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

ご利用料金

一般 9,400円~ のところ  
学生・教職員 5,400円~  
卒業生・ご家族・同伴者 8,300円~ (1泊2食付)

ご予約

ご予約・お問い合わせは現地フロント係が承ります。お気軽にお電話ください!  
Tel. 0267-52-2111

施設の詳細などは本学園HPでご覧いただけます。どうぞご覧ください!  
<http://www.seitoku.jp/gakuen/house/>

### 〈周辺の観光スポットご案内〉

## サンプルー

長野県佐久市に学園のセミナーハウス・かすが荘があります。そこから車で30分のところにプルー農場があります(JA佐久浅間さく東部堂農センターでご紹介いただきました)。サンプルーという品種で9月上旬から中旬までお店に並ぶとのことです。



濃い紫色の果実に白い粉がついた状態でそのまま食べるそうです。この白い粉のようなものは果粉(かふん)といって、これが無いとプルーのおいしさが半減するそうです。

## 学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28

TEL.03-5476-8811(代)

発行人/川並弘昭 編集/総務課



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

## 読者の声

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。今後、ますます充実させていきたいと思っておりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

ご意見・ご感想の宛て先

〈郵送〉〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで  
〈インターネット〉<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiwase/> (頁下段の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)

インターネットを利用して皆さまの聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。

〈アンケートURL〉 <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/>